

平成24年度 第2回豊後大野市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：平成25年2月6日（水）14：00～

場所：豊後大野市役所本庁舎 正庁ホール



1. 開会

事務局：みなさんこんにちは。開始前にお知らせがあります。大分県バス協会の脇さんが、新たに委員に就任いたしました。本日はご都合が悪いということで、欠席でございます。また渡邊委員、小深田委員が欠席であるとの連絡を受けております。また、大井委員が所用のため、会議を中座いたします。本日は協議会及び交通会議の同時開催でございます。それでは、会長よりご挨拶願います。

2. 会長挨拶

会長：こんにちは。本日は平成24年度の第2回協議会にお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。おかげさまで利用者数は増加しております。今後も市民の皆様のご意見を十分に聞きながら、公共交通体系というものを考えていきたいと思っております。それでは、議事に移ります。事務局説明をお願いいたします。

3. 議事

(1) コミュニティバス、あいのりタクシーの運行状況について

事務局：コミュニティバス、あいのりタクシーの運行状況について（説明省略）

会長：今の報告に関する質問等ありますか。私から確認ですが、一月平均2700名

という数値がありましたが、これは、実人員ということですね。あいのりタクシーは112名でよいですね。

後藤委員：あいのりで10月以降利用者が落ちているのですが、何か要因はあるのですか。

事務局：10月が多いのは祝日が少なくて運行日が多いためと考えられ、その後の減少は、冬場は寒いため外出が落ち込む傾向にあるためと考えられます。

会長：それでは、その他ご意見がないようですので、引き続き運行ルート・ダイヤの説明をお願いいたします。

(2) コミュニティバス・ルートダイヤ変更について

事務局：コミュニティバス・ルートダイヤ変更についての説明（省略）

会長：今年の4月1日の運行から変更ということでしょうか。

事務局：はい、そうです。

会長：それでは何かご意見等ありますか。ないようですので、引き続きまして資料の説明をお願いいたします。

(3) トリガー制度について

事務局：トリガー制度についての説明（省略）

会長：(2)と(3)の議題の審議については、この後の公共交通会議にてお願いしたいと思います。それでは引き続きましてバス停コンテストについて説明をお願いいたします。

(4) バス停コンテストについて

事務局：バス停コンテストについての説明（省略）

会長：コンテストの性格上、1件のみということになりますが、よろしいでしょうか。

運転士への方の声は私どもとしてもうれしいので、日頃努力されている事業者の方へ感謝したいと思います。この利用者の方の声は、是非運転士の方へも直接お伝えいただければと思います。

それでは、引き続きまして事業評価について説明をお願いいたします。

(5) 事業評価について

事務局：事業評価について（説明省略）

会長：事業評価について説明のように、現時点での評価として、最終的には3月末までの結果を踏まえて、その結果を郵送させていただくということで、基本的には今回の内容でよろしいですか。

一同：異議なし。

佐藤委員：フリー乗降については、自由に出来るとのことでしたが、それは可能なのでしょうか。

事務局：国道・県道以外で交通量の少ない区間など、フリー乗降が可能なエリアを設定して出来るようにしております。

5. 閉会

会長：それではこれで、公共交通活性化協議会は終わりにして、交通会議に移りたいと思います。先ほど説明をさせていただきました（2）と（3）の2つの議題について、ご意見をいただきたいと思います。宜しくお願いいたします。

平成24年度 第2回豊後大野市地域公共交通会議 議事要旨

日時：平成25年2月6日（水）15：00～

場所：豊後大野市役所本庁舎 正庁ホール



1. 開会（省略）

2. 議事

（1）運行ルート・ダイヤの変更について

後藤委員：希望ですが、今後廃止をする場合の目安が出ておりましたが、必要な人がいるのであるが、運賃の関係などで利用していないというケースも考えられ、これらの路線については、割引など費用を安くするという事も考えられるのではないのでしょうか。例えば、一定期間半額にするなどの方策も考えられるのではないのでしょうか。そうすれば、PRにもつながるので、良いのではないかと思います。やはり、廃止にするところについては慎重にお願いしたいと思います。

会 長：その意見については、この後のトリガー制度にて協議をお願いしたいと思います。

事 務 局：今回ルートの変更を行うのは1路線のみです。三重町の山田線ですが、変更予定の下玉田は、大野町へ行く路線バスが通っていますが、利用者が少ないこと、そのエリアへの迂回がその他の利用者の不満に繋がっていること等が挙げられ、一方で、深田地区からのバス停設置要望があったため、ルートの変更を行うこととしました。詳細につきましては、参考資料3のバス停別利用者数を集計し

ており、その結果からもいえるかと思います。後ほどトリガーのところでも説明いたしますが、このように実数の積み上げにより判断している旨、ご報告いたします。

会 長：それでは、議案1については事務局提案通りでよろしいでしょうか。

一 同：異議なし。

会 長：ありがとうございました。それでは引き続きまして、トリガー制度について、ご意見等ありませんでしょうか。

(2) トリガー制度について

大井委員：先ほど話のありました料金の値下げについては、慎重に行う必要があります。

他の地域での事例ですが、一度料金を下げると、その後上げたときの反応として、利用者が戻らない危険性がありますので、気をつけた方が良いと思います。

また、料金の値下げによる費用負担の増加を継続的に見込む覚悟も必要になるかと思います。

会 長：貴重なアドバイスをありがとうございます。トリガー制度については、目標数値を検討する上でも慎重に行うことが重要であると思います。他にご意見ありませんか？ないようでしたら、事務局案で承認したいと思います。

一 同：異議なし。

会 長：それでは全体的なことのご意見も踏まえ、何かご意見はございますか。

特にないようですので、これにて交通会議を終わりにしたいと思います。

5. 閉会

会 長：それでは、これもちまして交通会議を終了いたします。

本日はありがとうございました。

以上

平成24年度 第2回豊後大野市地域公共交通活性化協議会及び
豊後大野市地域公共交通会議 出欠状況

	氏名	所属等	出欠	代理出席者	
				職名	氏名
会長	田代 勝義	行政機関(市) 豊後大野市副市長	○		
副会長	渡邊 優	住民代表 豊後大野市自治会連合会 会長	欠		
委員	坂本 栄喜	豊後大野市コミュニティバス関係者 豊後大野市コミュニティバス運営協議会長	○		
委員	坂本 茂	行政機関(県) 大分県豊肥振興局地域振興部長	○		
委員	森 繁文	行政機関(県) 大分県豊後大野土木事務所長	○		
委員	佐藤 修	行政機関(警察) 大分県豊後大野警察署交通課長	○		
委員	脇 紀昭	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体(バス)) 社団法人 大分県バス協会	欠		
委員	中山 勝宏	一般旅客自動車運送事業者(バス) 大野竹田バス株式会社取締役社長	○		
委員	神品 雄一	一般旅客自動車運送事業者(タクシー) 有限会社三重タクシー代表取締役	○		
委員	野尻 卓生	乗務員代表 大野竹田バス株式会社	○		
委員	永田 憲之介	鉄道事業者 九州旅客鉄道株式会社大分支社総務企画課運輸担当課長	代	総務企画課	松尾 正一
委員	小深田 聡	地元経済団体 豊後大野市商工会 青年部長	欠		
委員	下田 博	行政機関(市) 豊後大野市教育委員会学校教育課長	代	学校教育課 学校教育係長	藤戸 保彦
委員	後藤 和吉	行政機関(市) 豊後大野市高齢者福祉課	○		
委員	衛藤 一郎	行政機関(市) 豊後大野市建設課長	○		
委員	大井 尚司	大分大学経済学部経営システム学科 准教授	○		
アドバイザー	江藤 裕一	九州運輸局大分運輸支局首席運輸企画専門官	○		
アドバイザー	中菌 裕蔵	九州運輸局大分運輸支局首席運輸企画専門官	代	運輸企画専門官	本田 勝司
事務局	藤元 薫夫	豊後大野市まちづくり推進課長			
事務局	足立 建士	豊後大野市まちづくり推進課地域振興係長			
事務局	古庄 英之	豊後大野市まちづくり推進課地域振興係			